



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL http://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,541	5.6	44	—	55	419.2	40	△67.1
27年3月期第2四半期	3,352	△2.5	△15	—	10	—	124	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 111百万円(△17.3%) 27年3月期第2四半期 134百万円(△63.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.93	—
27年3月期第2四半期	18.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,713	9,574	74.5
27年3月期	11,564	9,580	75.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 8,732百万円 27年3月期 8,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,997	4.0	△14	—	20	—	15	△76.8
								2.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	7,340,465株	27年3月期	7,340,465株
28年3月期2Q	453,551株	27年3月期	452,840株
28年3月期2Q	6,887,251株	27年3月期2Q	6,888,889株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策の継続などを背景に引き続き堅調を維持しておりますが、中国経済の減速による世界経済の下振れリスクが懸念されるなど、先行きの不透明感が強まりつつあります。

ファッションアパレル業界におきましても、一部に訪日外国人や高所得者による消費の下支えも見られますが、全般には消費者の節約志向も強く、国内の衣料品の売れ行きは総じて低調で、これに伴い日本向け衣料品の生産は抑制傾向が続く、縫製を請け負う国や地域にバラつきはあるものの、全体として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,541百万円（前年同期比5.6%増）と、前年同期を上回る結果となりましたが、これは、主に前年同期には消費税増税後の駆け込み受注の反動があったことや、今夏に実施しました工業用縫い糸の販売価格改定に伴う前倒し受注によるものです。

一方利益面は、原材料、染料価格等の高止まりや国内工場操業度の低下、海外賃金の上昇傾向、中国事業での減収など、減益要因もあるものの、国内売上高の増加や当社の販管費の削減効果等もあって、営業利益は44百万円（前年同期は15百万円の損失）、経常利益は55百万円（前年同期比419.2%増）となりました。

なお、前年同期には中国子会社の移転に伴う受取補償金を特別利益に計上しましたが、当第2四半期連結累計期間にはその計上がないこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前年同期比67.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は、次のとおりです。

#### 日本

当期間における国内個人消費は、引き続き株高や賃金上昇を背景とした高所得者の消費は堅調で、増加する訪日外国人による消費も含めて、一部にプラス要因も見られますが、全般には輸入品や食料品、日用品の物価上昇傾向により、節約志向が強まる傾向にあり、国内消費にはばらつきが見られます。これらから国内での衣料品の売れ行きは、全体としては低調で、その生産も抑制傾向が続いているほか、趣味の分野である手芸関連の消費も低調で、縫い糸の国内市況は回復傾向が見られません。

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成27年4月から9月まで、国内子会社は平成27年2月から7月までの業績が連結されているため、前述の経済情勢や市況の影響は、各社ごとに若干相違があるものの、国内収益回復のための各社の諸策は徐々に成果も出始めております。

また、前年同期には消費税増税後の駆け込み受注の反動があったことや、今夏に実施しました工業用縫い糸の販売価格改定に伴う前倒し受注もあって、当セグメントの売上高は2,774百万円（前年同期比6.7%増）と前年同期を上回る結果となりました。

一方利益面につきましては、原材料、染料価格等の高止まりや国内工場操業度の低下等が引き続き製造コストを圧迫しておりますが、売上高の増加と販管費の削減等により、当セグメントの営業利益は12百万円（前年同期は40百万円の損失）となりました。

#### アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成27年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間における日本向け衣料品の生産は、引き続き慎重で抑制傾向が続いている上に、特に中国においては、人件費の上昇や円安傾向の継続、一国集中リスクの回避などから、東南アジア諸国への分散傾向に歯止めがかからず、同国の縫製業は受注の減少や競争の激化で淘汰が進んでおります。

当社グループにおきましても、これらの状況を受けて、タイおよびベトナムの子会社では販売も増加傾向にありますが、当セグメントにおいて最も販売比率が高い中国においては、縫い糸受注の減少に加え、販売競争の激化で一段と厳しさが増しております。

しかしながら前年同期と比較して為替レートが対元との関係で円安傾向に推移したこともあり、当セグメントの売上高は767百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

一方、利益面につきましては、中国子会社の売上高の減少に加えて、原材料価格の高止まりや海外賃金の上昇傾向に加え、先行経費負担等のマイナス要因が大きく、当セグメントの営業利益は2百万円（前年同期比89.9%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて149百万円増加し、11,713百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少160百万円、受取手形及び売掛金の増加156百万円、固定資産では、有形固定資産の増加246百万円、投資その他の資産の減少92百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて155百万円増加し、2,139百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加137百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円減少し、9,574百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少59百万円、為替換算調整勘定の増加43百万円などがありました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済は、堅調が維持されることが期待されるものの、中国経済減速による世界経済の下振れ懸念等は払拭されず、先行きは不透明です。

また、ファッションアパレル業界や手作り手芸の業界におきましては、消費者の節約志向が続き、衣料品消費も低調と生産の抑制傾向が続くなど、当社グループを取り巻く事業環境は、今後も厳しさが予想されます。

当社グループといたしましては、このような事業環境を踏まえつつも、国内事業の収益改善のための諸策を地道に継続するほか、アジア事業のさらなる拡充と海外販売に注力するなど、引き続きグループ一丸となって中長期の諸課題に取り組み、徐々に表れつつある成果をさらに拡大してグループとしての収益回復に努めてまいります。

なお、通期の連結業績につきましては、これらの事業環境に加え、第2四半期連結累計期間における工業用縫い糸の価格改正に伴う前倒し受注の反動等も想定されることから、売上高6,997百万円（前期比4.0%増）、営業損失14百万円（前期は149百万円の損失）、経常利益20百万円（前期は88百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15百万円（前期比76.8%減）を予想し、平成27年5月13日に発表しました平成28年3月期の連結業績予想を修正いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,348,176	2,187,768
受取手形及び売掛金	1,661,199	1,817,884
電子記録債権	31,850	41,878
たな卸資産	3,257,148	3,225,857
その他	125,530	126,209
貸倒引当金	△9,793	△8,802
流動資産合計	7,414,110	7,390,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,491,063	1,726,096
その他(純額)	828,383	839,528
有形固定資産合計	2,319,446	2,565,625
無形固定資産		
その他	299,752	318,784
無形固定資産合計	299,752	318,784
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,535,077	1,442,707
貸倒引当金	△4,223	△4,362
投資その他の資産合計	1,530,854	1,438,345
固定資産合計	4,150,053	4,322,755
資産合計	11,564,163	11,713,551
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	518,691	656,113
短期借入金	—	7,240
未払法人税等	187,856	80,159
賞与引当金	61,569	60,143
その他	328,054	410,869
流動負債合計	1,096,172	1,214,526
固定負債		
長期借入金	255,057	299,700
退職給付に係る負債	77,973	80,921
役員退職慰労引当金	194,949	188,814
資産除去債務	20,474	20,510
その他	339,107	334,874
固定負債合計	887,561	924,821
負債合計	1,983,734	2,139,347

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,207,917	6,148,338
自己株式	△107,562	△107,860
株主資本合計	7,781,693	7,721,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367,051	349,308
為替換算調整勘定	685,262	729,237
退職給付に係る調整累計額	△81,196	△68,254
その他の包括利益累計額合計	971,116	1,010,291
非支配株主持分	827,618	842,096
純資産合計	9,580,429	9,574,204
負債純資産合計	11,564,163	11,713,551



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,352,827	3,541,838
売上原価	2,401,332	2,593,787
売上総利益	951,494	948,051
販売費及び一般管理費	966,590	903,241
営業利益又は営業損失(△)	△15,096	44,809
営業外収益		
受取利息	4,675	2,658
受取配当金	11,083	16,421
売電収入	1,679	6,552
その他	19,735	13,590
営業外収益合計	37,173	39,222
営業外費用		
支払利息	6,864	7,130
為替差損	—	13,699
売電費用	3,083	4,492
その他	1,484	3,449
営業外費用合計	11,432	28,772
経常利益	10,644	55,259
特別利益		
受取補償金	242,028	—
移転損失引当金戻入額	18,260	—
特別利益合計	260,288	—
特別損失		
固定資産売却損	146	47
固定資産除却損	275	44
減損損失	70	103
特別損失合計	493	195
税金等調整前四半期純利益	270,438	55,064
法人税、住民税及び事業税	18,974	17,151
過年度法人税等戻入額	△39,944	—
法人税等調整額	87,565	△5,957
法人税等合計	66,596	11,193
四半期純利益	203,842	43,870
非支配株主に帰属する四半期純利益	79,711	3,052
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,130	40,818

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	203,842	43,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,859	△17,742
為替換算調整勘定	△123,319	72,602
退職給付に係る調整額	40,608	12,942
その他の包括利益合計	△68,852	67,802
四半期包括利益	134,989	111,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,795	79,992
非支配株主に係る四半期包括利益	55,194	31,681

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,600,071	752,755	3,352,827	—	3,352,827
セグメント間の内部 売上高又は振替高	178,653	396,592	575,246	△575,246	—
計	2,778,724	1,149,348	3,928,073	△575,246	3,352,827
セグメント利益又は損失(△)	△40,783	29,280	△11,503	△3,593	△15,096

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,593千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,774,520	767,318	3,541,838	—	3,541,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,633	352,853	502,487	△502,487	—
計	2,924,154	1,120,171	4,044,326	△502,487	3,541,838
セグメント利益	12,225	2,945	15,171	29,638	44,809

(注) 1. セグメント利益の調整額29,638千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。